

人情あふれる東京の下町を舞台に、
"もうひとつの美しい言葉・手話"で
織り成す、幾つもの世代をつなぐ
ハートフル・ストーリー

ゆずり葉

—君もまた次のきみへ—

ろう者と健聴者のヒューマン・コラボレーション



ふた組の恋人達をつなぐのは、
一本の手づくり映画に秘められた愛と哀しみの奇跡!

製作総指揮 安藤豊
プロデューサー 佐藤武光
新井英夫
撮影 石渡 均(JSC)
照明 明 奥村 誠
録音 瀨谷 満
美術 池田大威
音楽 沢渡一樹
編集 宮武由衣
助監督 山本保博
制作担当 佐々木文夫
監製プロデューサー 中橋真紀人
アドバイザー 山本おさむ
題字 後藤勝美
脚本・監督 早瀬憲太郎



大和田伸也

山口果林

林家正蔵(友情出演)

西村知美(友情出演)

石井めぐみ

大久保鷹

井崎哲也

貴田みどり

津田絵理奈

福嶋一生

今井絵理子(友情出演)

庄崎隆志

今井絵理子(友情出演)

文部科学省選定 厚生労働省推薦



人情あふれる東京の下町を舞台に、
“もうひとつの美しい言葉・手話”で織り成す、
幾つもの世代をつなぐハートフル・ストーリー

ゆずり葉

ろう者と健聴者の
ヒューマン・コラボレーション!

—君もまた次のきみへ—

題字：後藤勲美

あらすじ

ベテラン大工の敬一(庄崎隆志)は昔の恋人の早苗(今井絵理子)との苦い思い出から逃れるように、ろうあ運動から離れていたが、障害者への資格制限などの差別撤廃運動を盛り上げるため、二十数年前に途中でストップしていた手づくり映画の制作の再開に弱った身体を押して参加することに…。



その映画のオーディションに応募して主演に選ばれる吾朗(福嶋一生)だが、私生活は不安定な様子…?結婚に踏み切れない吾朗に苛立つ恋人の、ろう学校の教員のさやか(津田絵理奈)と、その妹で薬剤師国家試験に挑戦中の尚美(貴田みどり)は、周囲に支えられながら、新しい人生を切り開こうとしている…。

実際に映画づくりが始まると、関係者の苦労が続いたが、支援の輪は広がり始める。しかし、敬一の体には病魔が迫り、撮影の進め方にも悩むばかり…。そうした壁を乗り越えながら、ラストシーンの撮影の日が訪れる……!



ふた組の恋人達をつなぐのは、
一本の手づくり映画に秘められた愛と哀しみの奇跡!

がいせつ

聴覚障害者の人権を守ってきた全日本ろうあ連盟が創設60周年を記念して初の映画製作に取り組む。耳の間こえない生い立ちの中で同じ障害の次代を支える学習塾や映像教材を推進する早瀬憲太郎が劇映画として企画したオリジナル脚本を、漫画「どんぐりの家」などで聴覚障害児の苦闘を描いた山本おさむの全面協力で磨き上げ、初監督に挑戦している。

撮影には映画作りのベテランが結集。ロケには手話通訳者が同行し現場を支え、「ヨーイ、スタート」に白い旗、「カット」には赤い旗を振るなどの創意工夫で、聞こえない監督やキャストと聞こえるスタッフやキャストとの意思疎通を図りながら、熱い思いを実現させている。

幾つかの世代にわたる登場人物の手話表現に関しては「日本手話研究所」が監修し、専門家や先輩諸氏のアドバイスを生かしながら、撮影が進められた。

一組目の恋人には、ろう演劇界のリーダーとして全国的な公演活動で活躍する庄崎隆志。その相手には08年夏に再結成で話題のSPEEDの今井絵理子。09年2月のエッセイ「ココロノウタ〜息子と歩んだ4年間、そしてこれから〜」で記すように、聴覚に障害を持って生まれてきた息子への母親としての思いを込めて、早瀬監督との偶然の出会いから出演を決意。

二組目のろう同士の恋人には、アメリカ留学などで若い才能を生かす新進気鋭の福嶋一生と、魅力的な容姿でモデル・俳優を始める津田絵理奈。その妹役で、早瀬監督の夫人が原型の、ろう者初の薬剤師に挑戦する青春像を演ずるのは現役大学生の貴田みどり。ろうあ連盟事務局長にはろう演劇界のベテランの井崎哲也。

彼らを温かく見守る工務店の先代社長を大和田伸也が熟演。物語には、大久保鷹、石井めぐみ、山口果林、そして手話が取り持つ縁で友情出演する西村知美と林家正蔵が登場して爽やかな彩りを添えている。

【2009年/1時間43分/日本語字幕入り】

製作総指揮 安藤豊吾
プロデューサー 佐藤武光
撮影 石渡均(ASC)
照明 新井英夫
録音 石渡均(ASC)
美術 瀬谷満
音楽 池田大威
編集 沢渡一樹
助監督 宮武由衣
監督 山本保博
制作担当 佐々木文夫
宣伝配給プロデューサー
アドバイザー 中橋真紀人
脚本・監督 早瀬憲太郎
山本おさむ

庄崎隆志
今井絵理子(SPEED)
福嶋一生
津田絵理奈
貴田みどり
井崎哲也
大久保鷹
石井めぐみ
西村知美(友情出演)
林家正蔵(友情出演)
山口果林
大和田伸也



ゆずり葉の木とは…
ユズリハ科の常緑高木。葉は長楕円形でツヤがあり、裏面は白緑色で、柄は赤く、枝先に集まって互生する。若い葉が育つてから古い葉が落ちることにちなみ、「己の代を次の代にゆずる願心」を表す繁栄の象徴とされている。“新旧相ゆる”という縁起を祝って新年の飾り物にも使われている。



映画の原作が書籍となっております!!
小説『ゆずり葉』発行:汐文社 定価¥1,400+税
初心者に役立つ手話の入門書
『おぼえよう みんなの手話』発行:国際放映 定価¥2,000+税



◆上映日程・会場など映画に関するお問い合わせ (財)全日本ろうあ連盟
〒162-0801 東京都新宿区山吹町130 SKビル8階 <http://www.jfd.or.jp/movie>
Tel.03-3268-8847 Fax.03-3267-3445 E-mail:yuzuriha@jfd.or.jp